

砂丘館

日本銀行新潟支店長役宅

主催◆砂丘館

# 林家 正雀

2024年7月

20 [土] 14:00

- 一、猫の皿
  - 二、御神酒徳利
  - 三、城木屋
  - 四、錦木
- 大喜利・風流吹き寄せ踊り

歯切れのいい人情味あふれる語り口で新潟の観客の心をとらえる  
正雀師匠。二〇一〇年から続く砂丘館での口演は12回目となります。  
二年ぶりの今回も二日連続でお楽しみいただきます！

二日連続口演

21 [日] 14:00

- 〈正雀鳴り物囃〉
- 一、落語(林家彦三)
  - 二、稽古屋
  - 三、七段目
  - 四、怪談牡丹燈籠(三遊亭圓朝作)  
——栗橋宿——
- 大喜利・風流吹き寄せ踊り  
おはやし・森吉あき

各回 4000円(小・中学生3000円)  
2回通し 7000円(小・中学生5000円)

各回  
定員40名  
要申込  
(詳細裏面)

# 噺の手引き

林家正雀

## 「猫の皿」

只今は、古美術商と云いますが、以前は道具屋さんと呼んだそうでした。旅先で良い品物を安く買って、江戸で高く売ろうと旅に出たのですが……。

## 「御神酒徳利」

主人公の善六さんの出世噺ですが、江戸から神奈川、大阪と舞台が変わり、旅の気分が味わえる、お目出度い噺です。

## 「城木屋」

東海道五十三次、評判娘、伊勢の壺屋の煙草入れの三題から出来た三題噺ですが、下げ間際の、五十三次の言い立てが聴きどころになっています。

## 「錦木」

お大名の酒井雅楽頭と按摩を生業としている錦木との友情を描いた人情噺。男の約束が叶う爽やかな噺です。

## 「稽古屋」

唄を音曲と呼んだ頃は、女性の師匠ではなくては、稽古場が繁盛しなかったと云われています。その頃の、稽古場風景を。

## 「七段目」

お芝居の「忠臣蔵」の中で、一番華やかな場は、「七段目の一力茶屋」です。芝居好きな若旦那が、小僧を相手に、「七段目」を演じる事になりますが……。

## 「栗橋宿」

お露と新三郎の恋物語が、欲に憑かれた伴造夫婦が絡み、おどろおどろの世界になります。幸手堤の芝居噺をお楽しみください。

## 林家正雀

はやしやししょうじゃく

落語家。一九五一年二月二十五日山梨県生まれ。七四年に八代目林家正蔵(のち彦六)に入門し、前座名繁蔵。七八年正雀で二ツ目。八三年同名のまま真打。

## 料金

各回 **4000円**(小・中学生3000円)  
2回通し **7000円**(小・中学生5000円)

## お申込方法

本演目は全て事前申込が必要です。  
参加希望日、お名前、連絡先、参加人数を、電話又はFAX、Eメールで砂丘館までお知らせの上、お申し込みください。

◆電話・FAX 025(222)2676

◆Eメール yoyaku@bz04.plala.or.jp

\*いただいた個人情報はこの催しに関するご連絡以外には使用しません。

会場◆砂丘館 一階和室(定員各回40名)

新潟市中央区西大畑町5218-1

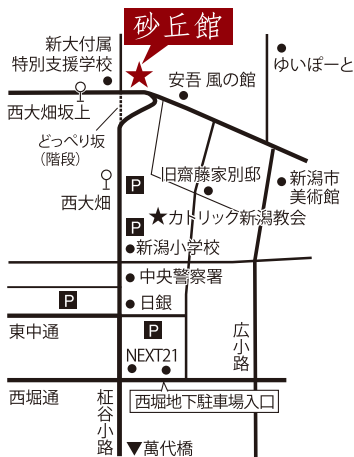
電話 025(222)2676

<https://www.sakyukan.jp>

新潟駅バスターミナル9番線より浜浦町線C2系統又は18番線より観光循環バスで「西大畑坂上」下車徒歩1分

※砂丘館には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用ください。

※新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は駐車券提示にて1時間分の無料券を差し上げます。



## 砂丘館

日本銀行新潟支店長役宅  
指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



〈私たちは砂丘館を応援しています〉

あられ株式会社 NSGグループ 新潟ビルサービス 丸屋本店 藤田金庫

WIND 郷土の文化に親しむ会 書齋gallery 片桐奈保美 田中太一